

# 北陸石仏の会々報

## お宮さんに不動明王が鎮座される 南砺市の神社の場合

尾田 武雄

富山県南砺市の旧井波町や井口村の山間部の神社境内に大ぶりの不動明王石仏が、数多く鎮座している。一見神社に仏像とは不釣り合いだと思われるが、実に神社に馴染んでおり、ここに住む人々は、違和感がなく受け入れられている。旧井波町東城寺八幡宮境内、同川原崎天満宮境内、同今里神明宮境内、同沖神明宮境内、高屋古宮内、旧井口村川上中神明宮前にある。また他に路傍には旧井波町では十八体もある。旧井波町では石仏総数が百八十三体であり、実に10%である。旧井口村では路傍の一体とで二体であり、石仏総数が三十八体である。これらは共に大振りで堂々と鎮座している。銘のあるもので古いものは、今里神明宮の「慶應二丙寅正月井波石工七次郎」である。他には沖神明宮の「明治二十九年九月建立 子供連中 森川作」、旧井波町の飛騨屋交差点には高さ3m、幅1.56mの不動明王坐像があるが「招魂碑 森川栄吉作」とある。砺波地方の石仏は江戸時代末から明治期に多く造立されているが、不動明王もこの時期に造像されたことは銘文や彫法から理解できる。

第十五代将軍徳川慶喜による大政奉還の請願がされ、王政復古の宣言が発せられたのが慶応三年十二月である。慶應四年三月以降、明治新政府は、宗教政策の一つとして神仏を同じ場所で祀ることを禁止し、神道を国家公認の

第66号  
 令和4年4月1日発行  
 編集と発行  
**北陸石仏の会**  
 (日本石仏協会北陸支部)  
 代表 平井一雄  
 〒939-1315  
 富山県砺波市太田  
 1770 尾田武雄方  
 電話 0763-32-2772  
 振替 00740-2-11974  
 (年会費 3000円)  
 ホームページ  
<http://odatakeo.wp.xdomain.jp/>

- ・お宮さんに不動明王
- ・和気清麻呂像
- ・水の女神、海の女神
- ・伏木新島の太子様
- ・岡西光寺の石仏
- ・第62回例会案内

宗教にしようとした。神仏分離政策である。こうした神仏分離の動きは、各地で仏閣を破壊し、仏像、仏具を散逸させる廃仏毀釈を招いた。富山県でも立山の岩嶺寺や芦嶺寺の両宗教村落や、小矢部市の俱利伽羅の長楽寺などが大きい影響を受けた。富山藩では明治三年に合寺令が發布され、藩内の寺院一派一寺に併合を求め、翌日に行動が断行された。富山藩は特異であるが、このような状況は全国的に展開された。廃仏毀釈の吹き荒れる慶應年間から明治初期に、この砺波地方は、神社の仏像を見る限り、大きい風には巻き込まれなかったであろうか。

砺波地方は真宗王国といわれている。真宗では「おおよそ造像・起塔は、弥陀の本願にあらざる所行なり」(覚如著『改邪鈔』)、また「他流には『名号より絵像、えぞうより木造』というなり、当流には『木造より絵像、えぞうより名号』というなり」(蓮如上人御一代記聞書)との教えがあり、「弥陀一仏」で、偶像崇拜を禁じている。またこの地方は真宗大谷派が多く、蓮如上人にまつわる開基伝承を持つ寺院が多い。王法為本の世界の広がりがある。「神棚降し」の教条主義的な安芸門徒といわれる広島県の僧侶がこの地で驚かれたのが、真摯な門徒宅に大きい神棚があると不思議といわれた。真宗地帯であるが、民間信仰や神祇には寛容であったと思われる。蓮如上人の「御文」の中に「諸神並仏・菩薩等不可軽之事」と神祇を軽んぜずという立場が見られる。

ところで、旧井波町は江戸時代には修験山伏が多く、たとえば江戸時代の初めころの砺波郡には各宗派の寺院が一八三カ寺あった。圧倒的に多いのが真宗の一四七カ寺、ついで修験道の寺院一五カ寺、曹洞宗一カ寺、真言宗

四カ寺、日蓮宗三カ寺である。貞享二年（一六八五）には、修験道の寺院が六三カ寺に増えている。これらは能登の石動山の太宮坊の支配下にあった。これは真言修験の当山派に属し、その内一七カ寺が井波町にあった。また旧井口村を含む南砺市北野（旧城端町）の修験寺防があった。井波別院瑞泉寺の足元である井波町、城端別院善徳寺のある周辺に、真言修験の信仰が根付いていたのである。

お宮さんに、仏像である不動明王が安置されることは、この地域にはその風土性や民間信仰のありようが窺える。またこの地には神明社を名乗る神社が、全国的にも珍しく多く、その御神像が雨宝童子である場合多い、これは伊勢神宮の鬼門にあたる場所にある金剛證寺にある雨宝童子を模していると思われる。この寺は修験者との関りを論じられている。砺波地方への廃仏毀釈の風は、それほど強くはなく、そのためにお宮さんに不動明王が鎮座されていても、不自然には思われなかったであろう。



南砺市今里神明宮の不動明王坐像



南砺市飛驒屋の不動明王坐像



南砺市川上中神明宮の不動明王坐像



# 大沢野町寺家公園の和氣清麻呂像

平井 一雄

## 1、寺家公園

富山県富山市（旧大沢野町）舟倉地区寺家出身の加藤幸次郎氏は、明治三四年に医師を志して上京し、勉学の末に京都で開業されました。今日成功したのは姉倉比売の加護と感謝し、姉倉比売神社の社地、帝龍寺の山林を含む約三万坪の広大な土地に公園を造ろうと計画されました。加藤氏の実兄であり、帝龍寺住職でもあった室生探真和尚は、公園造成のため山林を貸し与えました。

そして加藤氏が私財を投じて京都から庭師を招き、昭和五年から十年の歳月をかけて寺家公園が完成した。

公園の中心部にコンクリート製の「対猿閣」という建物があり、屋上に上ると正面に三四メートルの猿倉山が見える。又、対猿閣の前に造られた小さな庭園が「洗心苑」で苑を見下ろすように立っているのが「和氣清麻呂」の石像です。

## 2、和氣清麻呂

奈良朝期末の廷臣、地方の豪族出身で藤原仲麻呂の乱で天平神護一年（765）右兵衛尉となり、姉広虫とともに信任を得た。神護景雲二年（769）女帝・称徳天皇の信頼を得た道鏡が皇位をうかがった時、宇佐八幡の信託をきき道鏡の野望を挫いた。清麻呂は別部磯麻呂と改名され大隅（鹿児島）に配流、天皇の死後、道鏡失脚により復帰した。光仁・桓武天皇深く信頼され、平安遷都を推進、造都に活躍している。

聖徳天皇の勅命 『洗心録 昭和十六年』より

和氣清麿ヲシテ八幡神命ヲ聴カシムルノ勅 謹譯

昨夜夢ニ八幡ノ神使來リテ云フ。大神事ヲ奉セシメン為ニ。尼法均ヲ請フト。宜シク汝清麿相代ツテ征キ。彼ノ神ノ命ヲ聴クヘシ。

八幡神ノ宣託

我方国家ハ開闢以來君臣定マリヌ。臣ヲ以テ君トナスコト。未ダ之レ有ラザルナリ。天之日嗣ハ必ず皇緒ヲ立テヨ。無道ノ人宜シク早く掃ヒ除クベシ

## 3、洗心園と和氣清麻呂像『洗心録』より意訳

昭和五年以前、大正時代より、姉倉姫神社境内の宮繕を初め各種の事業を連続奉仕してきた加藤幸次郎は、神苑拡張事業十年計画の腹案を造り、昭和五年より本格的工事に着手してより以来幾多の障害を排除し、百萬の私財と、自己の全身全霊を捧げて精進し、春風秋雨十年の星霜を経て、昭和十五年（皇紀二千六百年）の佳き年を迎へ、目出度く多年の宿願を成就した。

「洗心園」は神社拜殿の背後、「対猿閣」と向かいあう所に一区画を作り「洗心園」と命名。

ここに和氣清麻呂像が建立されている。原型の塑像は京都美術工芸学校の矢野判三作、京都五条の澤吉主人澤田長一郎製作という。この石像は桜御影石の材料を厳選し、像の高さは六尺、台座は三尺の岩組の上に立つ。



和氣清麻呂像



台座下石銘文「神我ト共ニアリ」

## 水の女神、海の女神

滝本 やすし

### ①富山県魚津市大沢 水神社／罔象女神

罔象女神は、伊邪那美命が軻遇突智を生んだ際に、火傷し苦しんだ時の尿から生まれたとされる。その名は「水が走る」「水が這う」という意味である。

大沢集落の外れに白山社が建てられており、その近くの川沿いに罔象女神を祭神とする水神社が建てられている。祠内に置かれた厨子の中に丸彫りの罔象女神立像が御神体として祀られている。

### ②福井県坂井市春江町西長田 長田神社／高竈神と閻竈神

高竈神は、伊邪那岐命が軻遇突智を斬った際に生じた。また剣の柄に付いた血から閻竈神が生じたとされる。高竈神と閻竈神は降雨と止雨を司る龍神である。京都府京都市左京区の貴船神社では本宮に高竈神が、奥宮には閻竈神が祀られている。もとは奥宮が本宮であり、貴船神社では高竈神と閻竈神は同一神であるとされる。富山県砺波市庄川町庄の雄神神社では瀬織津姫と共に祭神として祀られており、社号の雄神は竈が由来であると言われる。

長田神社の祭神は継体天皇、旧社格は指定村社。境内社は、貴船神社、白山神社、春日神社、辨財天社。本殿の右手に五基の石造物が並べられている。中央の石造物は四面の石幢で、正面に女神像が二体、左右の側面に随神像が各一体浮彫りされている。この石幢は貴船神社と考えられ、二体の女神像は高竈神と閻竈神と思われる。左側面に「應永八月上旬日」と刻まれている。

### ③福井県坂井市坂井町上兵庫 松原神社／市杵嶋姫命

市杵嶋姫命は、天照大神が素戔嗚尊の剣を嚙んで吹きだした霧から生じた宗像三女神の一柱である。本地仏は弁財天とされる。巖島神社に祀られている八臂弁財天は、明治初頭の神仏分離の際に大巖寺へ移された。

松原神社の祭神は、天津兒屋根命、倉稻魂命、表筒男命、天照皇大神、伊弉册尊二柱、櫛樟日命、市杵嶋姫命。旧社格は村社。本殿右手のコンクリー

トブロック製の堂内に、十体ほどの石仏や石神などが納められている。前列左から、阿弥陀如来座像、阿弥陀如来座像、十一面観音座像、男神座像、阿弥陀如来座像である。後列左から、如来形陽刻板碑、男神座像、弁財天座像、薬師如来立像、弁財天立像、男神座像、「辨才天」と刻まれた鳥居の額束である。堂内には二体の弁才天がみられるが、立像の一体は美しい市杵嶋姫命の姿が彫られている。

### ④石川県白山市三宮町 路傍／瀬織津姫

瀬織津姫は大祓詞に登場する女神で、罪や穢れを川へ流すとされる。大祓詞では、早川の瀬にいる瀬織津比売(瀬織津姫)が人々の罪や穢れを川へ流し、この罪や穢れは海の潮の流れが集まるところにいる速開都比売が口を開けて呑み込み、さらに気吹戸にいる気吹戸主が地底の根の国(黄泉の国)へと吹き払い、最後に黄泉の国にいる速佐須良比売が持ちさすらって消失させる。すなわち、瀬織津比売(早川)↓速開都比売(河口)↓気吹戸主(海底)↓速佐須良比売(地底)の順に罪や穢れが運ばれ消されて行くのである。したがって、川辺で罪や穢れを瀬織津姫にあずければ続く神々が順番に処理してくれるので、人々は祓戸四柱のうちで最も身近な存在である瀬織津姫を河濯の神として祀ったのである。

白山市三宮町の白山比咩神社の駐車場脇に、河濯尊大権現堂が建てられている。以前は白山比咩神社参道の禊ぎ場に建てられていたのだが、境外この場所へ移された。堂内には石造の河濯尊大権現が祀られている。角柱型の凝灰岩製で、瀬織津姫立像を浮彫りしている。左手に宝珠を持ち、右手を胸の高さまで上げている。裏面中央に大きく「奉造立河濯尊大権現」と刻まれ、その左右には「元文三戊午歳五月吉祥日／石浦町菅波屋／三島兵衛」の銘が刻まれている。

### ⑤石川県金沢市東山一丁目 高野山真言宗誓王院／大宜都比売神

大宜都比売神は『古事記』に登場する食物の神である。『日本書紀』に登場する保食神と同一神であるとも言われる。食物の神は農業神であることから、農作における水利を司る水神としての信仰もみられる。



醫王院(通称観音院)参道の六地藏堂内に置かれている。角柱型の凝灰岩に、左手に稲穂を持つ女神立像が浮彫りされている。もともからこの場所にあったものではなく、後に誰かが他所から持ち込んだものである。

#### ⑥福井県越前町梅浦 路傍／豊玉姫

豊玉姫は、海神豊玉彦の娘で、竜宮に住むとされる。浦島太郎物語に登場する乙姫のモデルになったと云われる。

梅浦集落外れの小高い場所に小堂が建てられており、舟光背型浮彫り女神座像が納められている。左脇下に大きな鯛を抱え、右掌上に宝塔を持ち、海を見下ろしている。宝塔の下部はアーチ状の竜宮造りとなっており、裏面に大きく「水神」と刻まれている。この地域では竜宮伝説がみられ、この女神像は豊玉姫をモデルとした乙姫と考えられる。

#### ⑦福井県あわら市吉崎 岩崎観音／船玉宮

船玉とは船魂であり、船の神である。船玉宮は、日本古来の船玉信仰と、中国道教の媽祖信仰とが結びついたとされる。唐服を着た美しい女神で、二童子を従えて雲に乗り、海運を守護する。

吉崎御坊跡の崖をくり抜いて八体の石仏が納められており、これらの石仏群を岩崎観音と称している。右から二番目に船玉宮が浮彫りされた笏谷石製の石板が納められている。上部に「宋ノ太宗時業漁人女也／雍熙四年／九月九日昇天シ／雲中ニ聲アリテ／我ハ則／観音ノ化身普ク／海運ヲ護／セシニヨリテ／船玉宮ト／号」と刻まれている。坂井市三国町には船玉明神の掛軸も残されており、海運業者による信仰が厚かったことがうかがえる。

#### ⑧福井県坂井市丸岡町与河 八幡神社／弟橘媛

弟橘媛は日本武尊の後である。日本武尊の東征の際に弟橘媛は荒海に身を投じ、波を鎮めて日本武尊を救ったとされる。このことから、縁結びの他に海運安全の神としての信仰もみられる。

八幡神社境内に笏谷石製の仏像や神像が並んでいる。これらは六十六部の石仏の一部である。石像群の右から二番目に置かれている女神座像は光背に「上総／二宮」と刻まれているので、橘樹神社主祭神の弟橘媛である。



④瀬織津姫



③市杵嶋姫命



②高麗神と閻羅神



①罔象女神



⑧弟橘媛



⑦船玉宮



⑥豊玉姫



⑤大宜都比売神

## 伏木新島の太子様

金子 榮子

富山県高岡市伏木新島踏切脇の太子様のお像について。

幸い、太子講で集金にいらした方（伏木の港近くに店がありました、渡辺船具店のご夫婦）と行動を共にしてらした方（大川さんの奥さん。大川さんは地元の方）がご健在で私の父を覚えておられました。渡邊船具店は栃木出身。奥様は大川さんのご主人の姉。高岡の大師殿 真光寺へよくお参りされていた。大川さんの奥様はなぜ渡辺に嫁した大川さんの姉が真光寺にお参りするかも知らないで、ついて回った。

そこで真光寺へ電話しました。住職が代変わりになっていて、この像がなぜ現在のところに安置されているかは辿れませんでした。結局、真光寺さんへは、私は行っていません。

もう一つ、私が覚えているのは、新湊から ひーびーさんと呼んでいたおばあちゃんが暮れになるとブリキの大きな箱を担ぎ、ぶりを我が家に届けにきてました。当時、かなりの高齢でした。この方がお子さんをなくされ、この像を必ずお参りにおいでる、と父が話していました。

あの場所は埋めたて地です。どんなドラマがあるかは、私は知らないのです。

昭和二十年、多分早春。私が生まれた直後に軍港を理由にこの像近くの住まいから（最後の如意の渡しの前）強制疎開させられ、私の家は現在の地に引っ越しました。木材業はあのお像の横で続けてました。

さて、この像は毎年、新島自治会の方々や公民館でお寺さんと呼んで太子まつりをしておいでると聞いたので、訪ねました。このお寺さんは勝興寺護ケ寺の一つの龍善寺さんです。このご住職の話では、一緒に行われる物故者法要のおつとめはしてるが、太子様は関係してない、とのお返事でした。

今度は新島公民館館長の奥様の話。

あのお像があるところは、踏切です。このお像のおかげで、今まで事故が起きていない、と感謝してるそうです。そういえば戦後の復興期、伏木駅や渡しから、黒々と人の列が五大工場へ吸い込まれるように続いてました。引き込み線も多数あったことのように。



第61回例会 令和3年10月10日 高岡市伏木長徳寺にて



高岡市伏木新島の太子様



## 岡西光寺の石仏

滝本 やすし

西光寺は福井県福井市左内町にある天台真盛宗寺院。柴田勝家の菩提寺である。延徳元年（一四八九）、岡の庄に建立されたが、天正三年（一五七五）に北の庄（現在地）へ移された。しかし旧西光寺はもとの場所に残されており、岡西光寺、元西光寺などと呼ばれている。

岡西光寺は、現在地から東に七キロメートルほど離れた次郎丸町のはずれに残されている。名水として知られる岡の泉から三百メートルほどの道を歩いた。参道入り口に「円戒国師／慈撰大師／真盛上人二十五霊場／第十二番／元西光寺」と刻まれた標柱が建てられている。苔むした五輪塔が並ぶ参道を進み山門をくぐると、新しく建て直された仏堂が目に入る。次郎丸開山堂と呼ばれ、真盛上人自ら彫られた自身の木像が納められているそうである。ちようど西光寺の住職が境内の草刈りに来られており、お話をうかがうことができた。

開山堂の左手に五体の大きな地蔵が並んでいる。いずれも破損が激しい。六地蔵のうちの一体が失われたのであろう。地蔵の手前にも、参道と同じく多数の五輪塔が並べられている。

開山堂の向かいには山王神社の石祠が建てられており、奥壁内面に三体の像が浮彫りされている。中央の立像は大山咋神、右の座像は大物主神、左は桃を持つ猿である。石祠の周囲にも多数の石造物が置かれているが、これらも破損が激しい。

開山堂の右手に墓地があり、その先に石段が見える。住職に尋ねると「向こうにもお堂があるので、どうぞ行ってみてください」とのこと、先へと進んだ。石段の先には小堂が建てられており、五基の石造物が納められている。中央の大きな五輪塔は真盛上人の供養塔で、地輪に「■御為真盛上人／明應四年乙卯二月廿日」と刻まれている。



地蔵と五輪塔



岡西光寺参道



真盛上人供養塔など



桃を持つ猿、大山咋神、大物主神

# 北陸石仏の会 第62回例会

## — 砺波地方の石仏めぐり —

### 令和4年5月29日(日)

参加費：2000円（ガソリン代、資料代等）

集合場所：①JR砺波駅南口……………7時30分

②庄川水記念公園……………7時50分（駐車場あり、車の方の集合場所）

申込方法：次の事項を記入の上、ハガキでご連絡ください。

住所、氏名、電話番号（携帯電話も）、集合場所

※集合場所および時間が不都合な方はご連絡下さい。

※感染対策を行い、乗用車に相乗りします。

申込先：〒939-1315 砺波市太田 1770 尾田武雄方 北陸石仏の会事務局

締め切り：令和4年5月13日(金)

案内：尾田武雄(富山県砺波市)

#### 見学予定

◎砺波市庄川町庄加羅谷 金屋石採掘場跡

◎砺波市庄川町金屋西野々 御上様塚観音堂／十一面観音ほか

◎砺波市庄川町金屋 瓜裂清水／不動明王ほか

◎南砺市井波東町 路傍／無量力吼ほか

◎砺波市庄川町金屋下川原 高野山真言宗日照院／阿弥陀如来、地蔵ほか

◎砺波市庄川町青島～砺波市中野～砺波市太田 中筋往来／西国三十三ヶ所観音ほか

◎砺波市中野 立山酒造前観音堂／薬師如来、不動明王、秋葉権現、稻荷明神ほか

◎砺波市太田 高野山真言宗萬福寺／不動明王、西国三十三ヶ所観音ほか

◎砺波市大門 地蔵堂／聖徳太子二歳像、馬頭観音、如意輪観音ほか

◎砺波市芹谷 高野山真言宗千光寺／地蔵、西国三十三ヶ所観音ほか

諸事情により見学先を変更する場合があります。ご了承ください。

令和4年度の会費を未納の方は、同封の振替用紙にて納めてください。年会費は3000円です。